

戦争の記憶と現在

—ロシアからの視点

1945年8月、日本は、無条件降伏を求める米英中のポツダム宣言を受託し、ソ連は対日宣戦とともにポツダム宣言に参加した。それから70年、歴史研究や教育などを通じて、それぞれの国で様々な形で「戦争の記憶」が語り継がれてきた。

しかし、今日、世界各地で「戦争の記憶」を問う出来事が噴出している。「イスラム国」の台頭、ウクライナ危機を契機とするロシアのクリミア併合、領土と歴史認識をめぐる日本・中国・韓国の対立・・・、日中間には領土問題が横たわっている。

つまり、「戦争の記憶」は、現代を知り、未来について考えるキーワードなのである。そこで、第27回ユーラシア研究所総合シンポジウムでは、「戦争の記憶と現代—ロシアの視点」というテーマを掲げ、専門家とともに考えることとした。

日時 2015年5月30日(土)
シンポジウム 13:30 ~ 18:00

- 13:00 開場
司会 広岡直子(東京外国語大学非常勤講師)
- 13:30 ~ 13:40 小森田秋夫(ユーラシア研究所長:挨拶)
- 13:40 ~ 14:20 木畑 洋一(成城大学教授)
「ヨーロッパとアジアの第二次世界大戦」
- 14:20 ~ 15:00 立石洋子(北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター研究員)
「現代ロシアの歴史教科書と第二次世界大戦の記憶」
- 15:00 ~ 15:20 ~休憩~
- 15:20 ~ 16:00 澤野由紀子(聖心女子大学教授)
「戦争の記憶を伝える—ロシアの学校教育の現場から」
- 16:00 ~ 16:15 コメント グリゴリー・ミソチコ
(筑波大学大学院人間総合科学研究科教育基礎学専攻 博士後期課程)
- 16:15 ~ 16:30 コメント 齋藤治子(東京ロシア語学院理事長)
- 16:40 ~ 17:00 ~休憩~
- 17:00 ~ 17:55 一般質疑とパネルディスカッション
- 17:55 ~ 18:00 蓮見雄(ユーラシア研究所事務局長:挨拶)
-
- 19:00 ~ 21:00 ユーラシアブックレット200号記念懇親会を予定しています。
ユーラシアブックレットはこちらから。
<http://www.toyoshoten.co.jp/search/s4381.html>

*一部プログラムが変更されることがあります。

■シンポジウム参加費

ユーラシア研究所会員：無料／一般：1,000円／学生：500円／
聖心女子大学教職員・学生：無料

■祝賀会参加費

5,000円(事前申し込み)、6,000円(当日参加)

会場の都合により、当日参加が難しい場合もありますので、できるだけ事前申し込みをお願いします。ユーラシアブックレット200号記念祝賀会は、同日19:00 ~ 21:00を予定しています。

■参加申込フォーム

こちらのサイト https://docs.google.com/forms/d/1w78s4n9fw8_dikj6pvKWIKNGhoVF22D4X9lzxZH9390/viewform?usp=send_form に必要事項をご記入の上、お申し込み下さい。

または、<http://www.yuken-jp.com/ask.html> から、氏名、メールアドレスなどの他、ユーラシアブックレット200号記念祝賀会参加の申し込みの有無を記入の上、お申し込みください。

場所 聖心女子大学宮代ホール

<http://www.u-sacred-heart.ac.jp/access/>

- 東京メトロ日比谷線「広尾駅」
(2番「天現寺橋(聖心女子大学)方面」出口)下車
広尾商店街(散歩通り)を通り、約3分
- JR渋谷駅東口または恵比寿駅より都バス
「日赤医療センター前」行 終点「日赤医療センター前」下車約3分
- JR品川駅より都バス「新宿駅西口」行
「広尾橋」下車約4分
- JR目黒駅より都バス「千駄ヶ谷駅」、「新橋駅」行
「広尾橋」下車約4分



ユーラシア研究所

TEL/FAX:03-5477-7612
ホームページ:<http://www.yuken-jp.com/>
E-mail:yuken@t3.rim.or.jp